

広報委員 放浪記



東一番町の夏まつり

◆撮影場所 第二学区 東一番町

夏といえば、駅前にある上朝丸神社の祭礼で巫女舞や鳥居舞、重箱舞などが演じられていたことを思い出されます。

以前は東一番町町内会も氏子として参加していたのですが35年前に脱退をしました。以来子どもたちも増え、青少年事業の一環としてなんとか夏祭りのような行事をやらうとなりました。以前は酒樽を担いで行っていたのですが、今回は神輿を軽量小型化し、台車を改良してコンパネを敷き、万が一のときには防災用として担架代わりになる一石二鳥の神輿を製作しました。そしてようやく町内会独自の夏まつりを見事に開化させたのです。文化部、子ども会、各種団体が協力をし、知恵と工夫で何とか実施することができました。



●取材／広報委員 ㊦

カップ三代見聞記

◆撮影場所 狩川地区 狩川公民館噴水跡

長南一美さん（上幅）より、カップにまつわるお話を伺いました。

荒鍋内川農村公園の内川に、カップの平吉が棲んでいたと伝えられていました。平成21年7月、平吉に岩手県遠野市から、カップの成子が嫁いできました。平成だから成子と名付けられたそうです。そして平吉と成子の間に生まれた太郎に、遠野市長の本田敏秋氏が名付けた花子が嫁入りしたそうです。太郎と花子の像は道の駅しょうないの入り口で来客者を出迎えています。

平成31年4月1日の新元号発表1時間後、狩川公民館の噴水跡にて太郎と花子の間に「令和だあ」と産声を上げ、赤ちゃんカップの公太郎が誕生したそうです。

長南さんは町内にある全てのカップの像を製作したそうで、永年に渡るカップに対する思いに感動しました。

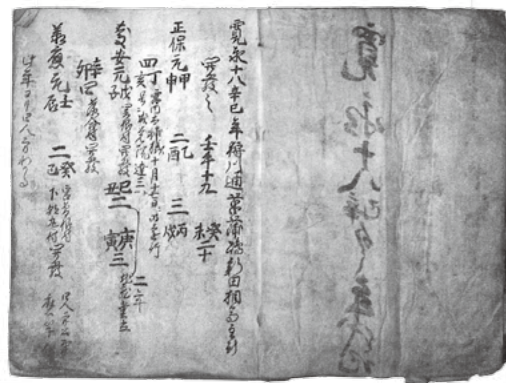


●取材／広報委員 ㊦

庄内町の文化財

菅蒲氏年代記

菅蒲家は、家根合で大蔵院という山伏をつとめた旧家です。
この菅蒲氏年代記は、縦17.5cm、横13.0cmあり、同家に伝わる記録で、記事は寛永18年（1641）から安政3年（1856）にわたっています。
また巻末には、歳代記の題名で、慶長元年（1596）から寛政元年（1789）までの略年表が附されています。
江戸時代の当地方の農村の出来事が、細かに記されている貴重な史料です。
和綴日本で、余目町史資料第一号に活字で和綴されています。
昭和59年8月に町指定文化財に指定されました。



8/15 令和元年度庄内町成人式



新成人239人のうち178人が響ホールに集まり、アトラクション「二十歳のメッセージ」などで決意を新たに、大人への一歩を踏み出しました。

8/16 庄内町就職ガイダンス



新成人や学生、UIターン希望者、一般求職者などに「地元で見つける自分らしい働き方」を見つけてもらおうと初開催され、町内事業所15社が参加しました。

8/25 かりかわ風来風流まつり



狩川公民館で開催され、大人から子どもまでが水を掛け合う恒例の「ぶっかけ！やばち一ぞ大会」には大勢の方が参加し、大盛況となりました。

8/25 全日本カート選手権 東地域第4戦



カートソレイユ最上川で、全国から集まったトップレーサーによる白熱した争いが繰り広げられ、ジュニアクラスでもハイレベルなレース展開となりました。

8/29 最上川風力発電所竣工式



(株)安藤組による最上川風力発電所の竣工式が、沢新田地内の現地で行われ、関係者約40人が出席し安全操業を祈願しました。

8/31 RUN伴2019



認知症になっても安心して暮らせる地域を目指して、認知症の人や住民と一緒にタスキをつなぎ、全国を縦断するイベントで余目地域内約2kmを走りました。